
第2部「急務！防災対策の再検討」**ビデオ上映「そのときあなたは どうする 文書館・図書館の防災対策—緊急対応編」**

小松芳郎氏（松本市文書館館長）

平成11年1月29日、愛知県公文書館と愛知県消防学校の全面的な協力を得て燃焼実験を行った。この実験の結果、経過、参加者の感想については「資料が燃えた！そのときあなたは」という冊子にまとめている。

この時に撮影した映像を全3巻のビデオに収めたが、セミナーや講義で上映できるよう20分に編集したものを今から上映する。

実験では、文書を収めた棚、図書関係を収めた棚、風除けの棚として、計3つの棚をコの字型に並べ、そのうち2つだけを燃やすという

方法をとった。10リットルのオイルで10分間燃やす予定であったが、火の回りが速く、実際には2分間しか燃やすことができなかった。参加者からも「あまりの火の回りの速さに驚いた」という感想があった。

棚に収める文書等は、縦置き、横置き、ダンボールに詰めたもの、などの工夫を凝らしたほか、紙媒体以外のマイクロフィルム、フロッピーディスク等も収めている。火災後の状態をみる機会はなかなかないという理由もあり、このような実験を行った。（以下ビデオ上映）